

# 六朝古都・南京滞在と京杭大運河・揚州の旅



2019年 **ご旅行期間とご旅行代金**  
**3月3日(日)発～3月7日(木)着…¥199,800**  
 一人部屋利用追加料金 **¥28,000**

- ツアーのポイント**
- 『天下第一の梅山』梅花山で、3万本超の梅の花をご覧いただけます。
  - 古くから『春牛首』と称えられる自然景観の美しい仏教名山・牛首山(天闕山)にて、2008年に発掘され世界を驚かす大発見となった釈迦の本物の頭蓋骨「**仏頂真骨**」を納めた金色に輝く**仏頂宮**を参観いたします。
  - 歴史と風情がしっかりと保存されている**京杭大運河の町・揚州**(旧広陵)を「**煙花三月**」の季節に訪れます。
  - 明の都・南京を代表する料理・『**秦淮八絶**』を平民版ではなく、**精細版**でご堪能いただけます。
  - 有名な**揚州炒飯**だけでなく、**翡翠シューマイ**など『**揚州飲茶**』をお召し上がりいただけます。



## 秦淮河の夜を楽しむ

中国歴史文化名河第一と称される秦淮河河畔(長江支流)の水景は、南京の昔ながらの趣が残り、夜になると一層綺麗に見えてきます。唐の詩人**杜牧**は「**煙は寒水を籠め、月は沙を籠む。夜秦淮に泊して、酒家に近し**」と名文で**秦淮河の夜景**を描きました。秦淮河巡りに使う船は**画舫**と呼ばれ、インパクトのある紅灯籠で装飾されています。

## “捲土重来”烏江亭

楚漢戦争最後の決戦**垓下の戦い**に敗れた**項羽**は敵の包囲を破り、わずかの手兵と長江の渡し場**烏江**(安徽省馬鞍市和県)まで落ちのびてきました。項羽はここで亭長(村長)から、ここでは自分しか船を持っていないので漢軍は河を渡れないから、ぜひ長江を渡り江東で王となり、“**捲(巻)土重来**”、力を蓄えて再挙を期するように勧められたものの、昔この河を渡るときに連れてきた江東の子弟八千人を失って何の面目があるかとその申し出を断り、漢軍の前で自ら首をはね自決しました。それから千年後、晩唐の詩人**杜牧**は長江と烏江亭を見下ろす高台を訪れて、項羽の死を惜しみ判官鼻屑もあつてか、もしも項羽が亭長の勧めに応じて長江を渡っていたならばと想像しつつ、書き付けた七言絶句が著名な「**題烏江亭**」です。(題とは壁などに漢詩を書くこと。)

「**烏江亭に題す**」**杜牧**(839年)  
 勝敗は兵家も事 期せず 羞を包み 恥を忍ぶは 是れ男兒  
 江東の子弟 才俊多し 捲土重来 未だ知るべからず



## 「煙花三月 揚州に下る」

**運河の町・揚州**は、2500年もの歴史を持つ古都[旧名:広陵]で、江蘇省中部の**京杭大運河**と**長江(揚子江)**が合流する場所に位置しています。歴史上、何度も中国で最も繁栄した都市のひとつに数えられ、豊かな歴史文化を有しています。特に明王朝時代の都市構成を基礎として発展を遂げてきた**横丁通り**は、古く小ぢんまりとした港が沢山あり、歴史と風情がしっかりと保存されています。霞がたなびき花が咲いている三月に南京から揚州へと下ります(李白「**黃鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る**」)。

## ご旅行条件

- 募集人員 / 18名様限定
- 最少催行人数 / 10名様
- 全食事付 / 朝食4回・昼食3回・夕食3回
- 旅券残存期間 / 6ヶ月以上
- 千歳空港使用料 / ¥1,030(別途必要)
- 国際観光旅客税[出国税] / ¥1,000(別途必要)
- 旅行代金には、**海外の空港税、出国税、航空保安税が含まれております。**
- 弊社では**燃油サーチャージ**を別途徴収いたしません。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス[ご自宅～空港～ご自宅]
- ※ビジネスクラス利用追加料金:¥70,000
- ※成田、関空から直行便にて南京空港での合流も同料金で可能です(日本の国内空港使用料は別途必要です)。ただし、発着時間帯が異なるため、南京空港で少しお待ちいただくこととなります(ガイドは待機させます)。



## ご利用ホテル

■**グランド・トラステル・マンダリン・ガーデン南京**(南京国信状元楼大酒店)★★★★★  
 中国的な赤いちょうちんの下がるひときわ目を引く外観の、**夫子廟のすぐ北側に位置**するエレガントなデラックスホテル。客室は薄い暖色系の色調でまとめられ、家具もゆったりと配置されており上品な雰囲気です。朝食も種類も多く味も評判が良。周囲は下町情緒がふれるエリアです。

※右記の時間は、すべて現地時間で表示されています。  
 ※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになれるよう万全の手配努力を致します。  
 ※表記の「**☑**」はそれぞれ「朝食・昼食・夕食・機内食」を示します。☑印の食事は含まれておりません。

日次	都市名	スケジュールと見どころ / お食事と宿泊地
1	千歳 南京	<p><b>スーツケース無料託送サービス</b> ご自宅～空港</p> <p>午後、千歳空港より、中国東方航空直行便にて、<b>中国四大古都</b>のひとつで南朝の都、<b>江蘇省の南京</b>へ[16:00発 / 19:10着]。着後、専用バスにて、まっすぐホテルに入ります。</p> <p><b>南朝の都・南京に4連泊</b>です。 <b>[南京泊]</b> ☑☑☑☑</p>
2	南京 (梅花山)	<p>終日、『<b>六朝古都</b>』南京の市内観光です。</p> <p>■ <b>世界遺産・明孝陵</b> を観光します。鐘山南麓に造られた明朝初代皇帝<b>朱元璋</b>とその皇后の陵墓で、高く大きいだけではなく形も独特で、中国古代陵墓の代表作です。また、鐘山風景区の<b>石像路</b>や、『<b>天下第一の梅山</b>』3万本超の梅花がある<b>梅花山の美景</b>もご覧いただけます。</p> <p>■ 25.1kmが保存され<b>世界最長、最大規模の都市城壁</b>で、歴史感たっぷりの<b>明代古城壁</b>と、中国に現存する最大の城門・<b>中華門</b>を見学します。</p> <p>■ 南京市のメルクマールである高さ50mの<b>獅子山閣江楼</b>にはエレベーターで登ります。</p> <p>■ 『<b>世界の七大奇跡</b>』に例えられ、アンデルセンの物語にも登場し<b>天国の花園</b>と呼ばれていた<b>大報恩寺</b>を見学します。中国で2番目という歴史を持つ<b>仏教寺院</b>で南朝四百八十寺の代表とされています。</p> <p>■ 夕食は「<b>貴賓楼</b>」にて、『<b>秦淮八絶</b>』の<b>精細版</b>をご堪能ください【一絶:雨花茶、二絶:鴨油酥燒餅、六絶:小焼麦、七絶:牛肉餃子、八絶:梅花蒸餅ほか】。</p> <p>■ 夕食後、明清時代の建物が並ぶ<b>南京夫子廟</b>と夜の<b>秦淮河</b>を、画舫という船で巡り、昔ながらの南京の趣と輝く<b>幻の如き秦淮河の夜</b>を楽しみます[45分]。 <b>[南京泊]</b> ☑☑☑☑</p>
3	(揚州)  (京杭大運河)	<p>終日、専用バスにて、<b>運河の町・揚州[広陵]</b>の観光。</p> <p>■ <b>鑑真和尚</b>ゆかりの1500年の歴史を持つ古刹・<b>大明寺</b>、<b>鑑真記念堂</b>、杭州西湖と並び賞される優美秀麗な<b>瘦西湖</b>、中国四大名園のひとつで竹林でも名高い典型的な江南庭園・<b>個園</b>、中国の古い町並みトップ10に数えられる<b>東関街</b>などをご案内いたします。</p> <p>■ <b>翡翠焼売</b>や<b>三丁包</b>など『<b>揚州飲茶</b>』と<b>蟹粉獅子頭</b>の昼食です。</p> <p>■ 紀元前486年に造られた北京と杭州を繋ぐ <b>世界遺産・京杭大運河</b>にも立寄ります。</p> <p>■ 南京に戻り夕食後、「中世世界七不思議のひとつ」とされた、<b>ライトアップされた(新)瑠璃塔</b>を眺めます。 <b>[南京泊]</b> ☑☑☑☑</p>
4	(牛首山)  (馬鞍山)	<p>午前、南京郊外の自然景観が美しい<b>仏教名山・牛首山</b>の見学。</p> <p>■ 2008年発掘され、世界を驚かす大発見となった釈迦の本物の頭蓋骨「<b>仏頂真骨(仏頂骨舍利)</b>」を納めた、金色に輝く<b>仏頂宮</b>を参観いたします。</p> <p>午後、長江のほとり、<b>安徽省馬鞍山</b>の観光。</p> <p>■ <b>馬鞍山</b>和<b>泉島江鎮</b>にて、項羽の廟・<b>西楚霸王靈祠</b>を観光します。</p> <p>■ また、和泉島江蒲にて、“<b>捲土重来</b>”の<b>烏江亭</b>にもご案内します。</p> <p>■ 夜、希望者で賑やかな南京の<b>夫子廟</b>の散策へ。 <b>[南京泊]</b> ☑☑☑☑</p>
5	南京 千歳	<p>午前、中国東方航空直行便にて、帰国の途へ[09:40発 / 15:00着]。午後、千歳空港到着。税関検査終了後、解散。</p> <p><b>スーツケース無料託送サービス</b> 空港～ご自宅 <b>[ご自宅]</b> ☑</p>